

令和5年度 北海道長万部高等学校 学校経営方針

スクール・ミッション

- 1 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- 2 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成
- 3 生徒一人一人を大切に、他者への思いやりを大切にする人としての力の育成
- 4 生活習慣と学習習慣を確立させ、自ら課題解決する能力の育成

スクール・ポリシー

〈グラデュエーション・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針〉

- 1 他者への思いやりを大切にできる生徒
- 2 ルール・マナー・時間を守れる生徒
- 3 自分の行動に責任を持ち、自己管理ができる生徒
- 4 自らが進路実現に向けて目標設定し地道に努力する生徒
- 5 明朗快活で何事にも積極的に学校生活が送れる生徒

〈カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施に関する方針〉

- 1 「何ができるようになるか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を踏まえた地域とともにある教育課程
- 2 具体的な授業内容等をデザインし、PDCAサイクルを常に意識した積極的授業改善
- 3 保護者や地域との連携、協働体制の確立
- 4 いじめの根絶と配慮を必要とする生徒への支援
- 5 「総合的な探究の時間」を活用した地域理解の取組

〈アドミッション・ポリシー：入学者の受入れに関する方針〉

- 1 基礎的基本的な知識と技能を身につけた生徒
- 2 常に前向きで、何事にも粘り強く取り組む力を持った生徒
- 3 多くのことに疑問を持ち、考え抜く力を持った生徒
- 4 正しい判断をする力と他を思いやる心を持った生徒
- 5 多様性を重んじ、助け合うことができる生徒

【校訓】
和而不同

【学校教育目標】
しなやかにたくましく
社会を生き抜く、
人としての力を育む

【スローガン】
「安全・安心な学校、
主体的に学ぶ学校、
魅力ある学校」

目 標	学 校 経 営 方 針						
	学 習 指 導	生 徒 指 導	進 路 指 導	健康・安全指導	信頼される 学校づくり	組織運営	教職員の 資質能力向上
	1 基礎基本を充実させ「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善を推進する。 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICT機器を効果的に活用する。 3 地域との連携・協働を強化し、探究活動を一層推進する。	1 基本的な生活習慣の確立を目指し、社会に貢献できる資質の向上を図る。 2 特別活動を充実させ、地域との関わりを深め、主体性・協調性等を養う。 3 いじめの早期発見・解決に努め、豊かな人間性を育む。	1 小中高大の連携による「地域課題解決型キャリア探究」を推進する。 2 保護者と進路情報を共有し、進路意欲を喚起させる等継続的できめ細かな支援を行う。 3 地域や関係機関と連携し、適切な情報提供を行う。	1 健康の保持増進と健全な生活を営む態度の育成を図る。 2 健康・安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力を育成する。 3 学習環境を整えるために、地域と連携し、校舎内外の美化活動を推進する。	1 積極的な情報提供・教育活動の公開を行い、学校評価を充実させる。 2 教育活動の質の向上を目指した力キュラム・マネジメントを実現する。 3 地域における連携・協働を強化する。	1 時間外勤務の縮減等、働き方改革を推進する。 2 分掌・学年業務等におけるCAPDO・OODAサイクルを継続する。 3 常に当事者意識を持って危機管理・危機対応に努める。	1 学校課題に対して広い視野で解決策を検討するとともに教育活動の改善・充実を図る。 2 日常的な研修を推進し、教科指導力を向上させる。 3 法令遵守と服務規律の保持を徹底する。
評 価 の 観 点	1 授業改善に繋がる実践を具体的にどのように実践したか。 2 ICTの効果的な活用がどのくらい実施できたか。 3 地域と連携協働した探究活動をどのように工夫し実践できたか。	1 基本的な生活習慣及び社会貢献の資質向上を図ることができたか。 2 地域との連携を深め、生徒の主体性や協調性を育むことができたか。 3 いじめの未然防止と早期発見・解決に努めたか。	1 キャリア探究を推進していくうえで、小中高大の連携ができたか。 2 保護者説明会等保護者の意識を高揚させることができたか。 3 適切な進路情報をタイムリーに提供することができたか。	1 保健だより等において感染症防止対策等を周知することができたか。 2 常に心身の健康を意識させ自己管理能力を育むことができたか。 3 清掃点検やゴミ分別の点検等校内美化に努めたか。	1 ホームページを年間200回以上更新できたか、楽メを効果的に活用できたか。 2 学校評価の肯定的な回答が令和4年度以上だったか。 3 地域の方々と教科・探究・特別活動で連携・協働を実現できたか。	1 時間外勤務45時間超えの教員が減少したか。業務負担を平準化できたか。 2 分掌・学年業務を省察し適宜見直すことができたか。 3 報・連・相の徹底及び危機管理における初期対応が徹底できたか。	1 全教職員が学校課題を共有し、解決への道筋を立てることができたか。 2 メタ認知及び日々の研修により教科指導力を向上させることができたか。 3 教育専門職員として相応しい行動ができたか、相互チェック機能が図られたか。
	教 育 活 動 学 校 経 営						